

平成22年度富山市民病院経営改善委員会を開催

平成22年度富山市民病院経営改善委員会が平成23年2月10日(木)に開催されました。

経営改善委員会は、病院の経営健全化を図るため、委員会が答申した経営改善計画(平成20年度策定)の取組み状況と実績の評価、助言、指導などを行います。

今年度は、この計画(3年計画)の中間年にあたり、経営改善状況の取組み、収支の概要に対する評価及び翌年度の取組みについて審議されました。

■今年度の取組みの概要

○平成22年度の改善計画の取組み状況では、

- ・平成22年度診療報酬改定に対応して人員配置などの検討・実施
 - ・DPC データについて更に精査・分析を行い、アクションプランの再設定や対応策の再検討
 - ・医師・看護師の更なる増員、女性の働きやすい環境の充実
 - ・材料費、委託料などの経費削減
 - ・地方公営企業法の全部適用への移行
 - ・実績管理や経営分析などを行う企画管理部門の設置
 - ・富山市・医師会急患センター(旧富山市救急医療センター)の移転に伴う施設改修・連携の充実
- などの目標や課題について、概ね達成いたしました。

また、アメニティを充実するため、昨年には、コンビニのリニューアル、カフェコーナーの設置、トイレの改修などを進めており、患者さんやご家族にも好評です。

○収支の概況

平成22年度改善計画の目標では、計画収支▲12,000千円の赤字を見込んでいましたが、収益が大幅に改善したことから、**230,000千円程度の黒字**を見込んでいます。

平成21年度の実績から比較しますと、750,000千円余りの収支改善が進んだものと考えています。

年度経営指標の目標と実績

年度 指標(%)	21年度 目標値	21年度 実績値	22年度 目標値	22年度実績 (見込み)
経常収支比率	97.3	95.8	100.0	102.8
医業収支比率	88.4	87.3	91.9	93.5
材料費対医業収益比率	26.01	23.70	23.1	22.05

※上記指標は、それぞれ収支改善が進み目標値を上回る見込みです。

■平成23年度経営改善の取組み

- ・地方公営企業法の全部適用への移行
- ・医師、看護師等の採用による稼働病床数の確保
- ・指導料、実施加算などの診療報酬の算定増
- ・経費の削減

・「富山市・医師会急患センター」の併設に伴う連携体制などの取組みを行ってまいります。

経営改善委員会からのご意見

■平成22年度の評価

平成22年度の取組みに対して

・診療報酬の改定に素早く対応出来ており、市民病院職員の努力の成果である。との評価をいただきました。

また、

・診療材料比率が伸びていかないよう注意していただきたい。

・病院は、医師を始めとする様々な職種のスタッフの上に成り立っている。医療クラークを導入し医師が働きやすい病院にならなければならない、また、他の医療スタッフの充実も必要である。

・古くなった医療機器や設備の更新に対する再投資、人的な資源(医師を始めとした医療スタッフ)の確保にも積極的に取り組んでいただきたい。

・全部適用になると、事業管理者の責任だけでなく、病院全体となった責任が求められることとなります。経営改善には、職員全員が経営感覚を持って取り組んでいただきたい。

などのご意見をいただきました。

これからも、市民病院が“地域から最も信頼される病院”となるため、各部署が協力しながら目標の達成に取り組んでまいります。